

# 特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan

(略称: WAI JAPAN) 定款

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan という。  
(ただし略称名を WAI JAPAN とする)

### (事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都港区に置く。

### (目 的)

第3条 この法人は、広く一般市民、特に航空業界を志す女性を対象として、航空・宇宙産業における女性の活躍促進を目的とする。航空教育、キャリア支援、ネットワーキングを推進し、業界の多様性向上を図るための活動を行い、女性が活躍できる社会の実現に寄与することを目的とする。

### (特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。

- (1) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
- (5) 國際協力の活動
- (6) まちづくりの推進を図る活動
- (7) 前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

### (事業の種類)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として、次の事業を行う。

- (1) 航空・宇宙産業に関する講演会、セミナー、見学会の開催
- (2) 女性航空従事者のキャリア支援・メンタープログラムの運営
- (3) 若年層向けの航空教育プログラムの提供
- (4) その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

2 この法人は、次のその他の事業を行う。

- (1) 寄附された物品の販売事業
- (2) ホームページや出版物への広告掲載事業

3 前項に掲げる事業は、第1項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その利益は、第1項に掲げる事業に充てるものとする。

3 前項に掲げる事業は、第1項に掲げる事業に支障がない限り行うものとし、その利益は、第1項に掲げる事業に充てるものとする。

## 第2章 会員

### (種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法（以下「法」という。）上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人及び団体
- (2) 賛助会員 この法人の目的に賛同し賛助するために入会した個人及び団体

### (入会)

第7条 会員の入会について、特に条件は定めない。

- 2 会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。
- 3 理事長は、前項の申し込みがあったとき、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 4 理事長は、第2項のものの入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

### (入会金及び会費)

第8条 会員は、総会において別に定める入会金及び会費を納入しなければならない。

### (会員の資格の喪失)

第9条 会員が次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

- (1) 退会届の提出をしたとき。
- (2) 本人が死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。
- (3) 繼続して1年以上会費を滞納したとき。
- (4) 除名されたとき。

### (退会)

第10条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。

### (除名)

第11条 会員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを除名することができる。

- (1) この定款に違反したとき。
- (2) この法人の名譽を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

2 前項の規定により会員を除名しようとする場合は、議決の前に当該会員に弁明の機会を与えなければならない。

## 第3章 役員

### (種別及び定数)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上7人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち1人を理事長とし、1人以上2人以内を副理事長とすることができる。（選任等）

第13条 理事及び監事は、総会において選任する。

- 2 理事長及び副理事長は、理事の互選とする。
- 3 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは3親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員並びにその配偶者及び3親等以内の親族が役員の総数の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 4 法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。
- 5 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねてはならない。

#### （職務）

第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 理事長以外の理事は、法人の業務について、この法人を代表しない。
- 3 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、理事長があらかじめ指名した順序によって、その職務を代行する。
- 4 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 5 監事は、次に掲げる職務を行う。
  - (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
  - (2) この法人の財産の状況を監査すること。
  - (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に關し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
  - (4) 前号の報告をするために必要がある場合には、総会を招集すること。
  - (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

（任期等）第15条 役員の任期は、理事長は2年、その他役員は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠のため、又は増員により就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

#### （欠員補充）

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

#### （解任）

第17条 役員が次の各号の一に該当する場合には、総会の議決により、これを解任することができる。

- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

2 前項の規定により役員を解任しようとする場合は、議決の前に当該役員に弁明の機会を与えるなければならない。

(報酬等)

第 18 条 役員は、その総数の 3 分の 1 以下の範囲内で報酬を受けることができる。

2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。

3 前 2 項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第 4 章 会 議

(種 別)

第 19 条 この法人の会議は、総会及び理事会の 2 種とする。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とする。

(総会の構成)

第 20 条 総会は、正会員をもって構成する。

(総会の権能)

第 21 条 総会は、以下の事項について議決する。

- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 会員の除名
- (4) 事業計画及び予算並びにその変更
- (5) 事業報告及び決算
- (6) 役員の選任及び解任
- (7) 役員の職務及び報酬
- (8) 入会金及び会費の額
- (9) 資産の管理の方法
- (10) 借入金（その事業年度内の収益をもって償還する短期借入金を除く。第 47 条において同じ。）その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (11) 解散における残余財産の帰属
- (12) 事務局の組織及び運営
- (13) その他運営に関する重要な事項

(総会の開催)

第 22 条 通常総会は、毎年 1 回開催する。

2 臨時総会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の 5 分の 1 以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があったとき。
- (3) 監事が第 14 条第 5 項第 4 号の規定に基づいて招集するとき。

(総会の招集)

第 23 条 総会は、前条第 2 項第 3 号の場合を除いて、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第 2 項第 1 号及び第 2 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときには、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(総会の議長)

第 24 条 総会の議長は、その総会に出席した正会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第 25 条 総会は、正会員総数の2分の1以上の出席がなければ開会することはできない。

(総会の議決)

第 26 条 総会における議決事項は、第 23 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 理事又は正会員が、総会の目的である事項について提案した場合において、正会員全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の社員総会の決議があったものとみなす。

(総会での表決権等)

第 27 条 各正会員の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、前 2 条及び次条第 1 項の適用については、総会に出席したものとみなす。
- 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

(総会の議事録)

第 28 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員総数及び出席者数（書面若しくは電磁的方法による表決者又は表決委任者がある場合にあっては、その数を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び総会において選任された議事録署名人 2 人が、記名押印又は署名しなければならない。

3 前 2 項の規定にかかわらず、正会員全員が書面又は電磁的記録による同意の意思表示をしたことにより、総会の決議があったとみなされた場合においては、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。（1）総会の決議があったものとみなされた事項の内容

- (2) 前号の事項の提案をした者の氏名又は名称
- (3) 総会の決議があったものとみなされた日及び正会員総数
- (4) 議事録の作成に係る職務を行った者の氏名

(理事会の構成)

第 29 条 理事会は、理事をもって構成する。

(理事会の権能)

第 30 条 理事会は、この定款に別に定める事項のほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第 31 条 理事会は、次に掲げる場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事総数の 2 分の 1 以上から理事会の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

(理事会の招集)

第 32 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第 2 号の規定による請求があったときは、その日から 14 日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法により、開催の日の少なくとも 5 日前までに通知しなければならない。

(理事会の議長)

第 33 条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(理事会の議決)

第 34 条 理事会における議決事項は、第 32 条第 3 項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。

- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会での表決権等)

第 35 条 各理事の表決権は、平等なものとする。

- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。
- 3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第 1 項の適用については、理事会に出席したものとみなす。
- 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事は、その議事の議決に加わることができない。

(理事会の議事録)

第 36 条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名（書面表決者にあっては、その旨を付記すること。）
- (3) 審議事項
- (4) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人が記名押印又は署名しなければならない。

## 第5章 資産

(資産の構成)

第37条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された資産
- (2) 入会金及び会費
- (3) 寄附金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第38条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産、その他の事業に関する資産の2種とする。

(資産の管理)

第39条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

## 第6章 会計

(会計の原則)

第40条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第41条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業会計、その他の事業会計の2種とする。

(事業年度)

第42条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算は、毎事業年度、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

(暫定予算)

第 44 条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。

2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(予算の追加及び更正)

第 45 条 予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、総会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第 46 条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。

2 決算上剩余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(臨機の措置)

第 47 条 予算をもって定めるもののほか、借入金の借入れその他新たな義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、総会の議決を経なければならない。

## 第 7 章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第 48 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の 4 分の 3 以上の多数による議決を経、かつ、法第 25 条第 3 項に規定する事項については、所轄庁の認証を得なければならない。

2 この法人の定款を変更（前項の規定により所轄庁の認証を得なければならない事項を除く。）したときは、所轄庁に届け出なければならない。

(解 散)

第 49 条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
- (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
- (3) 正会員の欠亡
- (4) 合併
- (5) 破産手続開始の決定
- (6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第 1 号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の 4 分の 3 以上の議決を経なければならない。

3 第 1 項第 2 号の事由によりこの法人が解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第 50 条 この法人が解散（合併又は破産手続開始の決定による解散を除く。）したときに  
残存する財産は、法第 11 条第 3 項に掲げる者のうち、総会において議決し  
たものに譲渡するものとする。

（合併）

第 51 条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の 4 分の 3 以上の  
議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

## 第 8 章 公告の方法

（公告の方法）

第 52 条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う  
。ただし、法第 28 条の 2 第 1 項に規定する貸借対照表の公告については、  
この法人のホームページにおいて行う。

## 第 9 章 事務局

（事務局の設置）

第 53 条 この法人に、この法人の事務を処理するため、事務局を設置することができる。  
2 事務局には、事務局長及び必要な職員を置くことができる。

（職員の任免）

第 54 条 事務局長及び職員の任免は、理事長が行う。

（組織及び運営） 第 55 条 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、総会の議決を経て  
、理事長が別  
に定める。

## 第 10 章 雜 則

（細則）

第 56 条 この定款の施行について必要な細則は、理事会の議決を経て、理事長がこれ  
を定める。

### 附 則

- 1 この定款は、この法人の成立の日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。

理事長 勝野 詠巳香

理事 濱田 芳彰

理事 平川 優紀（田中優紀）

監事 TSEVEEN URANCHIMEG (菅原 ウランチメグ)

- 3 この法人の設立当初の役員の任期は、第 15 条第 1 項の規定にかかわらず、この法人の  
成立の日から令和 9 年 5 月 31 日までとする。
- 4 この法人の設立当初の事業年度は、第 42 条の規定にかかわらず、この法人の成立の日  
から令和 8 年 3 月 31 日までとする。
- 5 この法人の設立当初の事業計画及び予算は、第 43 条の規定にかかわらず、設立総会の  
定めるところによる。

6 この法人の設立当初の入会金及び会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

(1)入会金 正会員（個人・団体） 8,000円 賛助会員（個人・団体） 10,000円  
(2)年会費 正会員（個人・団体） 12,000円 賛助会員（個人・団体） 1口 24,000円  
（1口以上）

## 役員名簿

(役員名簿及び役員のうち報酬を受ける者の名簿)

特定非営利活動法人Women in Aviation International Japan

## 1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)  
各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

## 2 役員一覧

	役名 (どちらかに○)	(フリガナ)	報酬の有無 (どちらかに○)	役職名等
		氏名		
1	理事・監事	カツノ エミカ	有・無	理事長
		勝野 詠巳香		
2	理事・監事	ハマダ ヨシアキ	有・無	理事
		濱田 芳彰		
3	理事・監事	ヒラカワ ユキ (タナカ ユキ)	有・無	理事
		平川 優紀 (田中 優紀)		
4	理事・監事	ツェヴァーン ウランチメグ  (スガワラ ウランチメグ) TSEVEEN URANCHIMEG  (菅原 ウランチメグ)	有・無	監事
5	理事・監事		有・無	
6	理事・監事		有・無	
7	理事・監事		有・無	

## 7年度

## 事業計画書

## 特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan

## 1 事業実施の方針

令和7年度は東京都及び近隣地域を主な活動拠点とし、女性の航空分野への参画促進、次世代教育、キャリア支援に関する事業を展開する。航空業界に関心のある女性や若年層を対象とした講演会・体験会・情報発信を通じて、将来の人材育成とネットワークの構築を行う。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 662.5 】千円 )

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
航空・宇宙業界に関する講演会、セミナー、見学会の開催	若年層（中高生・大学生）を対象に、航空業界の基礎知識・職種紹介などをを行うセミナーを開催	12月	都内公民館	5人	中高生、大学生	90	350
女性航空従事者キャリア支援・メンタープログラムの運営	女性航空従事者やパイロットを招いたキャリアアートイベント・ネットワーキングを実施	1月	都内ホール	4人	女性一般（高校生以上）	60	270
若年層向けの航空教育プログラムの提供	誰もが空を目指せる社会をテーマとした公開講座・パネルディスカッションを実施	2月	都内の大学共催会場	3人	一般市民	40名	42.5

## (2) その他の事業

(事業費の総費用【 40 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
寄附された物品の販売事業	寄附を受けたグッズ等のバザー販売	随時	法人事務所	3~5	30
ホームページや出版物への広告掲載事業	関係企業の広告掲載	随時	ホームページ	1~2	10

## 8 年度

## 事業計画書

特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan

## 1 事業実施の方針

令和8年度は東京都及び近隣地域を主な活動拠点とし、女性の航空分野への参画促進、次世代教育、キャリア支援に関する事業を展開する。航空業界に関心のある女性や若年層を対象とした講演会・体験会・情報発信を通じて、将来の人材育成とネットワークの構築を行う。

## 2 事業の実施に関する事項

## (1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 3,100 】千円 )

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
航空・宇宙業界に関する講演会、セミナー、見学会の開催	若年層（中高生・大学生）を対象に、航空業界の基礎知識・職種紹介などをを行うセミナーを開催	6月、10月（年2回）	都内民公館	10人	中高生、大学生	200（100名×2回）	1,000
女性航空従事者のキャリア支援・メンタープログラムの運営	女性航空従事者やパイロットを招いたキャリアトークイベント・ネットワーキングを実施	8月、11月（年2回）	都内一ホール	8人	女性一般（高校生以上）	160（80名×2回）	1,200
若年層向けの航空教育プログラムの提供	誰もが空を目指せる社会をテーマとした公開講座・パネルディスカッションを実施	12月	都内大の学催会場	5人	一般市民	100名	900

## (2) その他の事業

(事業費の総費用【 160 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
寄附された物品の販売事業	寄附を受けたグッズ等のバザー販売	随時	法人事務所	3~5	160
ホームページや出版物への広告掲載事業	関係企業の広告掲載	随時	ホームページ	1~2	60

## 7年度 活動予算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
<b>【A】 経常収益</b>					
1 受取会費		42,500		0	42,500
正会員受取会費	12,500				
賛助会員受取会費	30,000				
2 受取寄附金		300,000		0	300,000
受取寄附金	175,000				
施設等受入評価益	125,000				
3 受取助成金等		250,000		0	250,000
受取補助金	250,000				
4 事業収益		800,000		75,000	875,000
航空・宇宙業界に関する講演会、セミナー、見学会の開催事業収益	300,000				
女性航空従事者のキャリア支援・メンタープログラムの運営事業収益	250,000				
若年層向けの航空教育プログラムの提供事業収益	250,000				
寄付された物品の販売事業収益		50,000			
ホームページや出版物への広告掲載事業収益		25,000			
5 その他収益		250		0	250
受取利息	250				
<b>経常収益計</b>		1,392,750		75,000	1,467,750
<b>【B】 経常費用</b>					
1 事業費					
(1) 人件費		500,000		35,000	535,000
給料手当	275,000		25,000		
役員報酬	100,000				
退職給付費用	75,000		5,000		
福利厚生費	50,000		5,000		
(2) その他経費		162,500		5,000	167,500
会議費	50,000				
旅費交通費	12,500		5,000		
施設等評価費用	12,500				
減価償却費	50,000				
印刷製本費	37,500				
<b>事業費計</b>		662,500		40,000	702,500
2 管理費					
(1) 人件費		160,000		0	160,000
役員報酬	0				
給料手当	120,000				
退職給付費用	25,000				
福利厚生費	15,000				
(2) その他経費		432,500		0	432,500
消耗品費	25,000				
水道光熱費	75,000				
通信運搬費	30,000				
地代家賃	240,000				
旅費交通費	37,500				
減価償却費	25,000				
<b>管理費計</b>		592,500		0	592,500
<b>経常費用計</b>		1,255,000		40,000	1,295,000
<b>当期経常増減額【A】-【B】・・・①</b>		137,750		35,000	172,750
<b>【C】 経常外収益</b>					
固定資産売却益					
過年度損益修正益					
<b>経常外収益計</b>		0		0	0
<b>【D】 経常外費用</b>					
固定資産売却損					
災害損失					
過年度損益修正損					
<b>経常外費用計</b>		0		0	0
<b>当期経常外増減額【C】-【D】・・・②</b>		0		0	0
<b>経理区分振替額・・・③</b>		35,000		-35,000	
<b>税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④</b>		172,750		0	172,750
法人税・住民税及び事業税・・・⑤					70,000
設立時正味財産額・・・⑥					200,000
<b>次期繰越正味財産額④-⑤+⑥</b>					302,750

## 8年度 活動予算書（その他事業がある場合）

特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
<b>【A】 経常収益</b>					
1 受取会費 正会員受取会費 賛助会員受取会費	50,000 120,000	170,000		0	170,000
2 受取寄附金 受取寄附金 施設等受入評価益	700,000 500,000	1,200,000		0	1,200,000
3 受取助成金等 受取助成金	1,000,000	1,000,000		0	1,000,000
4 事業収益 航空・宇宙業界に関する講演会、セミナー、見学会の開催事業収益 女性航空従事者のキャリア支援・メンタープログラムの運営事業収益 若年層向けの航空教育プログラムの提供事業収益 寄付された物品の販売事業収益 ホームページや出版物への広告掲載事業収益	1,200,000 1,000,000 1,000,000	3,200,000	200,000 100,000	300,000	3,500,000
5 その他の収益 受取利息	1,000	1,000		0	1,000
<b>経常収益計</b>		<b>5,571,000</b>		<b>300,000</b>	<b>5,871,000</b>
<b>【B】 経常費用</b>					
1 事業費					
(1) 人件費 給料手当 役員報酬 退職給付費用 福利厚生費	1,100,000 400,000 300,000 200,000	2,000,000	100,000 20,000 20,000	140,000	2,140,000
(2) その他経費 会議費 旅費交通費 施設等評価費用 減価償却費 印刷製本費	200,000 50,000 500,000 200,000 150,000	1,100,000	20,000 20,000	20,000	1,120,000
<b>事業費計</b>		<b>3,100,000</b>		<b>160,000</b>	<b>3,260,000</b>
2 管理費					
(1) 人件費 役員報酬 給料手当 退職給付費用 福利厚生費	0 480,000 100,000 60,000	640,000		0	640,000
(2) その他経費 消耗品費 水道光熱費 通信運搬費 地代家賃 旅費交通費 減価償却費	100,000 300,000 120,000 960,000 150,000 100,000	1,730,000		0	1,730,000
<b>管理費計</b>		<b>2,370,000</b>		<b>0</b>	<b>2,370,000</b>
<b>経常費用計</b>		<b>5,470,000</b>		<b>160,000</b>	<b>5,630,000</b>
<b>当期経常増減額【A】-【B】・・・①</b>		<b>101,000</b>		<b>140,000</b>	<b>241,000</b>
<b>【C】 経常外収益</b>					
固定資産売却益 過年度損益修正益					
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
<b>【D】 経常外費用</b>					
固定資産売却損 災害損失 過年度損益修正損					
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額【C】-【D】・・・②</b>		<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>
<b>経理区分振替額・・・③</b>		<b>140,000</b>		<b>-140,000</b>	
<b>税引前当期正味財産増減額①+②+③・・・④</b>		<b>241,000</b>		<b>0</b>	<b>241,000</b>
法人税・住民税及び事業税・・・⑤ 前期繰越正味財産額・・・⑥					
<b>次期繰越正味財産額④-⑤+⑥</b>					

# 特定非営利活動法人 Women in Aviation International Japan (略称WAI JAPAN) 設立趣旨書

近年、航空・宇宙産業は世界的に拡大し続けており、これに伴い高度な専門性と多様性を備えた人材の確保が急務となっています。にもかかわらず、航空・宇宙分野における女性の進出は依然として限られたものであり、性別による機会の不均衡や、情報・支援の不足が大きな障壁となっています。

こうした課題を解決し、誰もが自由に空を目指せる社会を実現するため、私たちは特定非営利活動法人「女性と航空の未来をつなぐ会」の設立を決意いたしました。

本法人は、以下の理念のもとに活動を行います：

- 航空および宇宙産業の現在および将来の担い手に対する支援と投資
- 多様な人材が安心して参加できる航空・宇宙分野の人材育成とネットワークの構築
- 少女や若年女性をはじめとする次世代へのキャリア啓発と教育機会の提供

航空業界における女性の活躍を促進することは、単なる平等の問題にとどまらず、産業の安全性・革新性を高めるうえでも極めて重要です。また、性別、年齢、国籍、障害の有無、性的指向や価値観などを問わず、あらゆる人が情熱をもってこの分野に参画できる社会の実現は、持続可能な未来を築く鍵となります。

そのため、本法人では、奨学金の提供、教育プログラムの開発、キャリア支援、情報発信活動を中心とした各種の取り組みを展開してまいります。また、地域社会との連携を強化し、航空産業全体の意識改革と構造的課題の解決にも寄与していきます。

本法人の活動を通じて、航空・宇宙分野における真の多様性と包摂性を実現し、人と空とが自由につながる社会の構築を目指します。

## 申請に至るまでの経過

2024年1月 有志により「女性と航空の未来をつなぐ会」(略称)WAI TOKYO 発足  
2024年2月 航空業界における女性活躍の課題に関する意見交換会実施  
2024年4月 団体活動の方向性および事業計画の策定  
2024年8月 特定非営利活動法人設立に向けた準備委員会開催  
2024年12月 特定非営利活動法人設立総会開催

2025年 10月 1日

設立代表者

氏名 勝野 詠巳香